



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園

3月園だより

令和3年2月26日
園長 新井智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shiroka.nedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



巣立ちの春

園長 新井智子

<わくわく発表会>

3歳児「フルーツのもりへでかけよう」



「おなべおなべにえたかな」



4歳児「11びきのねこのだいぼうけん」



「ブレーメンにいこう」



6月の入園式、分散登園から始まった本年度は、コロナ禍に苛まれ、ついにマスクを外すことなく年度末を迎えることになりました。子どもたちは、不自由さの中にあっても、明るくたくましく森の園庭を駆け抜け、友達とともに豊かな遊びを繰り広げており、教員が子どもたちの姿に勇気づけられた一年でもありました。

先日、年少組と年中組の「わくわく劇場」の取り組みの様子を動画として配信しました。画面を通してですが、子どもたちの成長を、劇の表現を通して感じていただけたかと思います。友達と同じ場で、登場人物になりきって楽しそうに動いたり、担任のナレーションに合わせて、物語の世界に浸ったり。いろいろな場面で経験してきたことが、劇遊びという空間で繰り広げられました。

今、修了を前に年長児がこれまで行ってきた当番や園の仕事の引き継ぎを行っています。誕生会の司会を手を添えて丁寧に説明している年長児。司会の後ろに小さく佇んで年中組の様子を見守っている姿ややりとりに成長と小学生になる自覚が見られます。

もうすぐ年長児が春の森に見送られ、巣立つ時を迎えます。創造的な生活が営める自然豊かな環境の中で、同年齢の子どもたちと関わり、ものに関わり、事象を取り込み、たっぷりと遊び込んで、子ども社会を形成してきた三年間が修了します。遊びを通して生涯を生きていく基盤になる力をしっかりと獲得したものと確信しています。

一年間、保護者の皆様や地域の皆様には、温かなご支援とお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分なりの思いやイメージを言葉や動きで表しながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 友達と遊ぶ中で、「うれしい」「困った」などの様々な気持ちを味わったり、相手の気持ちに気付いたりする。
- 園生活をする中で身支度や片付けなど、自分で出来ることが増えた喜びを感じ、進級を楽しみにする。

4歳児

- 活動のめあてが分かり、自分なりに動いたり、友達の思いに気付いたりしながら一緒に取り組んでいく。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備などを通して、自分の成長を感じたり、進級への期待をもったりする。
- 春の訪れを感じながら、戸外で友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

5歳児

- 友達と互いに認め合い、心のつながりを感じながら、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- 幼稚園の思い出を振り返ったり、3・4歳児と触れ合ったりする中で自分の成長を感じる。
- 就学への期待を高め、一人ひとりが自覚をもちながら、修了に向けての活動に意欲的に取り組む。

